

プロジェクトゼミⅠ ループリック

領域	資質・能力	評価対象	S		A		B		C
			目標達成時期:学年末		目標達成時期:2学期末		目標達成時期:1学期末		
			基準	徴候	基準	徴候	基準	徴候	
かかわる力	主体的に取り組む力	グループワーク取り組み方	テーマについて関心を持って課題に取り組み、グループで積極的に問題点を見出し、社会や地域のために解決策を提案することができている	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのグループワークにおいて積極的に参加し、他者の意見を注意深く聞き、自分の意見をコメントしている ・グループワークの中でメンバーの意見や考えが尊重され、その情報を共有している ・話し合いの過程で、理由(主張の根拠)が求められ、理由が説明されている 	テーマについて関心を持って課題に取り組み、グループで問題点を見出し、解決策を提案することができている	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのグループワークにおいて参加し、他者の意見を注意深く聞いている ・グループワークの中でメンバーの意見や考えが尊重され、その情報を共有している ・メンバーの考えを汲んだうえでグループの解決案が決定された 	テーマについて、グループで問題点を見出し、解決策を提案することができている	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに参加している ・グループ内で話し合った情報を共有している ・グループワークにより解決案が決定された 	Bを満たしていない
	グループの中で協働する力	グループワーク取り組み方							
学ぶ力	情報を集め選択し利用する力	チームファイル提出物各発表	収集・整理した情報をグループで比較・分類・整理し、課題に対する解決策のアイデアを多面的に出すことができている	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料やメモなど学習過程の産物が時系列に沿って、ファイリングされている ・調査目的を事前に明確化した上でメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を十分に理解した上で、調査を進めた形跡がみられる ・各種書類に積極的に必要項目が記入され、活用しやすいよう整理されている 	収集・整理した情報をグループで協議し、課題に対する解決策のアイデアを出すことができている	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料やメモなど学習過程の産物が時系列に沿って、ファイリングされている ・調査目的を意識してメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を理解した上で、調査を進めた形跡がみられる ・各種書類に積極的に必要項目が記入されている 	収集・整理した情報をもとに、課題に対する解決策のアイデアを出すことができている	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料やメモなど学習過程の産物がファイリングされている ・調査内容に応じてメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を意識した形跡がみられる ・各種書類に必要事項が記入されている 	Bを満たしていない
	課題に対して解決していく力	グループワーク取り組み方							
	アイデアを形にする力	企画書試作品完成品							
伝える力	個人やグループの考えを他人に伝える力	企画書ポスター発表各発表	チーム内で積極的に議論をし、内容を十分に掘り下げたり、関連する事柄について意欲的に考えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・追究に値するテーマ、解決案が具体的に記載されている ・設定したテーマが、解決案につながっている ・企画した解決案が既存のものではない斬新なものである ・取組に関わる諸費用が具体的に書かれており、実現可能なものがしっかりと考えられている 	チームで議論し、内容を掘り下げたり、関連する事柄について考えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・追究に値するテーマ、解決案が具体的に記載されている ・設定したテーマが、解決案につながっている ・取組に関わる諸費用が具体的に書かれている 	チームの中で意見を出し合い議論することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのテーマ、解決案が記載されている ・必要項目すべてが記載されている 	Bを満たしていない
	グループワークを円滑に進める力	グループワーク							
見つめる力	取組を振り返り改善していく力	プロゼミノート自己評価シート	ワークシートや発表資料等を用いて自らやグループの取組を意欲的に評価し、改善点を見出すことができている	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文章作成のルールが十分に守られている ・指示された全ての事項について自身の言葉で論述している ・自己評価シートの7割以上の論述があり、誤字、脱字がない 	ワークシートや発表資料等を用いて自らやグループの取組を評価し、改善点を見出すことができている	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文章作成のルールが守られている ・指示された事項について自身の言葉で論述されている ・自己評価シートの5～6割程度の論述があり、誤字、脱字がほとんどない 	ワークシート等を用いて自らの取組を評価することができている	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文章作成のルールが意識されている ・指示された事項について記載されている ・自己評価シートの4～5割程度の記載がある 	Bを満たしていない